

2 学習への向かい方

みなさんにとって、学校生活の中で中心となるのは「授業」です。授業中は、次のことに注意して授業を受けましょう。

① 授業中の態度は

- ・礼は、先言後礼です。
- ・日直の合図で授業の始まりの挨拶をします。(前時の振り返り・今日のめあて)
- ・先生の話や友達の発表を黙って考えながら最後まで聞きます。
- ・正しい姿勢で学習をします。(グー・ペタ・ピン・サ)
- ・授業に集中し、私語や勝手な行動に気を付けましょう。
- ・終わりの挨拶もきちんとします。(今日の振り返り・次時の予告)

② 聞くときは

- ・話をする人からだを向けて、目を見てうなずきながら聞きます。
- ・笑顔で、終わりまでしっかり聞きます。
- ・自分の考えと比べながら聞きます。

③ 読む・話すときは

- ・指名されたら「はい」と返事をして立って話します。
- ・みんなに聞こえる声の大きさと話します。(声のものさし・3)
- ・はっきりとした丁寧な言葉づかいで話します。

④ ノートは

- ・下敷を使いましょう。
- ・「ホニ学のスズメ」にある、ノートを書くときの約束を守り、学習のあとがわかるノートを作ります。
- ・友達にも分かるように、丁寧に書きます。

⑤ 発言の仕方は

- ・「はい ～です。」
- ・「はい ～だと思えます。」 「はい ～だと考えます。」

◎ 友達の考えにつなげて話すとき

- ・「〇〇さんと同じで～です。」
- ・「〇〇さんと似ていて～です。」
- ・「〇〇さんと少しちがって～です。」
- ・「〇〇さんに付けくわえて～です。」
- ・「〇〇さんに質問です。」

◎ 構成を考えて話すとき

- ・「～だと思えます。わけは、～だからです。」
- ・「～は、二つあります。一つは、～です。二つは、～です。」

◎ 表現を工夫して話すとき

- ・「たとえば～」 「まとめると～」 「まず～、次に～、最後に～」

～授業に向けて準備しよう～

	観点の項目	低学年	中学年	高学年
授業前	授業前の準備	自分の席に座って、本を読んだり復習したり（教科書やノートを読む）して先生をまつ。		本を読んだり復習したり（教科書やノートを読む・ドリル学習）予習したり（国語辞典で意味を調べるなど）して先生をまつ。
		専科教室には、並んで静かに歩いて行く。		
授業中	①授業開始終了	チャイムの合図を守り、授業を開始する。 授業の開始・終了時には振り返りと丁寧なあいさつをする。		
	②いすの座り方	背筋を伸ばし、よい姿勢で、いすに座る。	姿勢に気を付け、音をたてないように立ったり座ったりする。	
	③ノートのとりかた	日付け・単元名を書く		
		授業時の指示通りに、鉛筆の持ち方に気を付け、丁寧に記入する。	記号、字の大きさ、書く位置を考えて記入する。自分の考え、友達の考えなど学習のあとがわかるノートづくりをめざす。	手際よく丁寧に、見出しを付けたり、板書以外の先生の話や自分の考えを書いたりし、工夫して記入する。
	④発表の仕方	ひじと指を伸ばして挙手をする。 名前を呼ばれたら「はい」と返事をして立ち、3の声で発表する。		
	⑤話の聞き方	話す人の顔にからだをむけて目を見ながら最後まで聞く。	同じ(賛成)・違う(反対)など、自分の意見と比べながら聞く。	相手の意見を尊重しながら自分の意見と比べながら聞く。
⑥話し方	声の大きさに気を付けて、はっきりと話す。	相手や目的に応じ、筋道を立てて話す。	目的や意図に応じ、話の組み立てを工夫しながら話す。	
		適切な言葉遣いで話す。分からないことを質問する。		
授業後	授業後の片付け	教科書・ノートを机の中に入れ、次の授業の準備をする。 みんなが使ったものは、自主的に片付ける。		
家庭で	学習用具の準備	A4の手紙が入るファスナーつきの連絡袋に連絡帳を入れる。		
		お手紙を渡し、連絡帳を見せ、時間割を見て準備し、おうちの人に点検してもらう。	お手紙を渡し、連絡帳を見せ、時間割を見て準備する。	お手紙を渡し、時間割や学習の計画に合わせ準備する。
	持ち物すべてに記名をし、大切に扱う。			
	家庭学習 10分間×学年	楽しんで宿題に取り組む。	自分から進んで宿題や自主学習に取り組む。	

～学習用具～

項目 (場所)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ロッカー・フック	<p>○登校後すぐに教科書・ノートなどを右側の道具箱に入れる。 ○体育着、上履き入れは廊下のフックにかける。 ○上着はたたんで、ランドセルに入れる。入りきらない場合は、ロッカーの中。 ※ランドセルには防犯ブザー以外はつけない。</p>					
			<p>○辞書 ※辞書が入る位の（大きすぎない）手さげ袋に入れて机のフックにかける。</p>			
筆箱	<p>○原則、筆箱タイプ ※一度購入したものをなるべく長く使うようにする。 ※缶ペンケース型は使用しない。 ※道具箱に入らないような必要以上に大きい筆箱は、使用しない。</p>					
筆箱の中	<p>○鉛筆4～5本（Bか2B） ※シャープペンシルは、使用しない。 ※鉛筆は毎日家で削ってくる。</p>					
	<p>○消しゴム1個 ※かおりつき、色つきのは消えにくいので、使用しない。</p>					
	<p>○黒の油性ペン ・太字と細字があるもの。</p>					
	<p>○ミニ定規 ・15cm程度で、筆箱に入る透明なもの。 ※伸ばすと30cmになるタイプのは壊れやすいので使用しない。</p>					
	<p>○赤鉛筆・青鉛筆 各1本 ※カラーペンは原則使わないが、必要な場合は、担任の指示による。</p>					

項目 (場所)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
専科袋			<p>○袋は巾着タイプで、キルティング布等厚地の布は不可。 ※サイズ 縦約30cm×横約20cm以内 (ひも部分除く) 以下の①～⑤が入るものであれば可。 ○専科袋に入れるもの ①小さいペンケース (2Bの鉛筆2本・消しゴム・黒の油性ペン) ②木工用ボンド ③はさみ ④液体のり ⑤色鉛筆12色セット ※専科袋をお道具箱に入れて使用すれば、③液体のり、④はさみ、⑤色鉛筆を二重に用意する必要はない。(下記●印のもの) ※この専科袋は図工・音楽・理科・図書等で共有して使います。</p>			
左側の道具箱	●液体のり ※色、におい、きらきら付きではないものにする。 ※担任の指示により、他のものを使用する場合がある。					
	●はさみ ※手の大きさに合っているものに適宜変えていく。					
	●色鉛筆 ・基本は12色。					
	○ステープラー					
	○セロハンテープ ・道具箱に入る大きさで、テープカッター付きのケースに入れる。					
	○自由帳 ※学習ノートや連絡帳を忘れた時に使用する。 ※休み時間などのお絵かきにも使用する。					
	○クレパス 12～16色			※担任の指示により持参する場合もある。		
	○折り紙 ※20枚ほどをジッパー付きの袋に入れる。					
ノート	○指定されたノートを使用する。 ○残りのページが少なくなったら新しいノートを早めに準備する。 ○使い終えたノートは、授業中に内容を見直すことがあるので、しばらくは持っておく。					

項目 (場所)	教科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
各 教 科 の 用 具	図 書	○図書バッグ ・手さげタイプ。 ・キルティング布など厚地の布は不可。 ・2～3冊入れられる大きさのもの。 ・雨の日用のビニール袋。						
	図 工	○絵の具セット						
	家 庭 科	/					○裁縫セット	
							○調理実習セット ・エプロン ・三角巾 ・マスク ・ふきん2枚	
	算 数 担任からの指示に より持ってくる。	○三角定規（2枚組） ・算数の教科書と同じタイプのもの。						
					○コンパス ・鉛筆タイプのもの。 ※シャープペンタイプは不可。			
			○分度器 ・算数の教科書と同じタイプ。					
音 楽	○教科書 ○歌はともだち（歌集） ○鍵盤ハーモニカ	○音楽バッグ 手さげがついたもので、キルティング布等厚地の布は不可。 ※サイズ縦40cm程度（手さげ部分含む） ×横26cm程度 ○音楽バッグに入れるもの ①教科書 ②歌はともだち（歌集） ③A4サイズファイル（楽譜プリントを入れる） ④リコーダー ⑤学年により副教材(例：リコーダー用楽譜等) ⑥専科袋 ※鍵盤ハーモニカについて 3年以上は、合奏で使う等、必要に応じて持ってくる。						